農事普及版

柑橘主要病害蟲と其の防除法

高雄州農事試驗場

寄贈
農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895
28
008
56

目次

一、緒言……一
二、病害
1 潰瘍病……二
2 瘡痂病……三
3 象皮病……三
4 腐敗病……四
5 黒星病……五
6 裂開病……五
7 青黴病……六
8 煤病……七
9 紋羽病……七
10 赤衣病……八
三、害蟲
1 ごまだらかみきり……九
2 みかんながたまむし……一〇
3 たいわんあをごうがね……一〇
4 みかんごげかめむし……一一

農業部農業試驗所典藏
由國家圖書館數位化

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

5 きしもふりかめむし……一一
6 みかんかめむし……一二
7 わたふきかひがらむし……一二
8 みかんのこなかひがらむし……一三
9 ひめまるかひがらむし……一四
10 みかんのあぶらむし……一四
11 みかんむぐりが……一五
12 こかくもんはまき……一五
13 たいわんきざくが……一六
14 こしろもんざくが……一六
15 みかんぞくが……一七
16 おほみのが……一七
17 はいいろひとりが……一七
18 はすもんよたう……一八
19 をなしぁげは……一八
20 たいわんおほばつた……一九
21 みかんこみばへ……二〇
四、結尾……附柑橘藥劑撒布曆……二〇

柑橘主要病害蟲ト其ノ防除法

一、緒言

高雄州下ノ柑橘栽培ハ相當以前カラ行ハレテキルガ僅ニ潮州、屏東ノ一部分ニ限ラレ生産量モ少ク品質其ノ他ニ於テモ他州下生産ノモノニ比ベテ尚及バサルモ然シ乍ラ氣候的天惠ハ全嶋ニ魁シテ其ノ成果ヲ市場ヘ搬出シ得ルノデアルカラ此ノ特異性ヲ利用シ肥培管理ニ注意シ病害虫ノ驅除豫防ニ力ヲ盡シ以テ美果ノ生産ニ努力シタナラバ柑橘栽培ハ益々有望トナリ生産者ノ享クル利益モ亦僅少デハナカラウト思フ。然シ乍ラ茲ニ注意スベキハ栽培面積ノ増加ト共ニ病害虫ノ被害モ必然的ニ激増スル事デアッテ之ガ防除ノ方法ヲ講ズルト否トハ實ニ斯業ノ盛衰ニ關スル處ト言フモ敢テ過言デハナイ。

抑生果ノ如キ嗜好的食料品ニアッテハ第一ニ色澤ガ奇麗デアリ形態モ良ク人ノ食慾ヲ唆ルニ足ルヲ必要トスル、然ルニ其ノ生産セル柑果ガ病菌ノタメ外觀ヲ汚染セラレ害虫ノタメ畸形ヲ呈スルガ如キコトアッテハ既ニ商品トシテノ價値ヲ尠カラズ失ツタモノト言ハネバナラヌ。況ヤ州下ノ氣候風土タルヤ四時殆ド寒サヲ知ラズ恰モ自然ノ一大温室ニ似タル環境ニアッテ病菌害虫ノ繁殖跋扈ハ固ヨリ當然デ之ガ驅除豫防ヲ行ハズシテ美果ノ生産ヲ望ムガ如キハ到底不可能デアル。サレバ柑橘

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

栽培者ハ其ノ肥培管理ニ意ヲ注グト共ニ病害虫ノ種類及其ノ處置等ニ對シテモ充分ナル注意ヲ拂イ常ニ誤リナキ防除法ヲ施行シ柑橘ヲシテ健全ナル成育ヲナサシムルニ努力スベキデアル。

二、病害

1 潰瘍病（くわいやう病）

本病ハ果實新梢及葉ヲ侵害スルモノデ初メ褐色ヲ帶ビタ圓形ノ小斑ガ出來漸次之ガ増加シテ病斑ハ**キルク**質トナリ中央ガ亀裂シテ遂ニ潰瘍狀トナル、果實ニ於テハ**レモン**及雪柑ニ最モ發病ガ多ク椪柑文旦等ニハ割合ニ少ナイ、ソウシテ發病ハ果皮ニ止リ内部ニ浸入シナイガ外觀醜惡トナリ著シク商品價値ヲ失スル、枝梢ノ古キモノヲ犯サズ必ズ新梢ニノミ發病ヲ見ルガ病症ガ進ムニ從ツテ其ノ先端カラ枯死スル、葉ノ病斑ハ果實及枝梢ニ生ズルモノヨリハ小サイガ其ノ數ガ多ク病斑ノ周圍ハ黄色ヲ呈シテ遂ニ落葉スルモノガ少クナイ。

防除法

一、窒素質肥料ノ過用ヲ避ケ燐酸質及加里質肥料ヲ適當ニ施用シ樹勢ノ强健ヲ計ルガヨイ。

一、開花後被害新梢ヲ切リ取ツテ燒却シ同時ニ四斗式**ボルドー**合劑ヲ撒布スル。

一、果實ノ栂指大以上ニナツタ時石灰硫黄合劑**ボーメ**一度ノモノヲ撒布シ爾後收穫迄全液ヲ三、

四回撒布スル、若シボルドー合劑ヲ撒布スルト象皮病ヤ煤病ガ多クナルカラ不可デアル。

一、病菌ハ傷口カラ浸入スル故「葉ムグリ蛾」其ノ他ノ害虫驅除ヲ勵行シ且ツ防風林ヲ設ケテ風ニヨル擦傷ヲ防ガネバナラヌ。

2 瘡痂病（そうか病）

本病ハ果實新梢及葉ヲ犯スモノデ病狀ハ潰瘍病ニ酷以シテキル初メ小サイ隆起ヲ生ジ次第ニ其ノ數ガ増加シテ病斑ハキルク質トナル、果實ニ甚ダシク發病スレバ疣狀ヲナスノデ、イボミカン、ナゾト呼バレル。

椪柑ニ發病ヲミルガ「レモン」ニハ少ナイ、果實ハ幼果時代ガ最モ犯サレ易イ。

防除法

一、潰瘍病ニ仝ジ但シ本病ハ潰瘍病ヨリハ早期ニ發病ヲ見ルカラ開花前ニモ一回、四斗式ボルドー合劑ヲ撒布スルガヨイ。

3 象皮病（ぞうひ病）

本病ハ「サビダニ」ト稱スル病原虫ノ寄生ニ原因スルモノデ主トシテ果實ヲ侵害スル、初メ果面ハ埃ガ附着シタ様ニナリ余リ目立タヌガ次第ニ汚褐色トナリ次デ赤銅色トナッテ殆ド柑果ト思ハレヌ

程醜汚ナル、色擇トナル、本病ハ文旦、ザボン、椪柑、レモンノ區別ナク何レモ被害ガ多イ。

防除法

一、果實ガ栂指大以上ニナツタ時、石灰硫黄合劑ヲ撒布シ爾后、收穫迄、全液ヲ三、四回撒布スル。

一、石灰硫黄合劑ハ〇・五度以下ノモノデモ有効デアルガ然シボルドー合劑ヲ用キルト却テ本病ガ多クナルカラ注意セネバナラヌ、ボルドー合劑ハ「サビダニ」ヲ殺ス力ナク却テ其ノ寄生菌ヲ死滅セシメルタメデアラウ。

4 腐敗病（ふはい病）

主トシテ成熟ニ近イ果實ヲ犯ス病害デ「レモン」ニ發生ガ多イ初メ果面ニ褐色ノ斑紋ガ出來次第ニ擴大スルト共ニ、其ノ周圍ハ固有ノ色擇ヲ失ツテ黄色ヲ呈シ病斑ハ益々不整形トナリ果面ヨリ稍凹入シ赤褐色ニ變ジ著シク外觀ヲ損スル從ツテ商品タル價値ガナクナル。

防除法

一、樹勢ノ衰エタモノニ發病多キ傾向ガアルカラ肥培管理ニハ特ニ注意ヲ要スル。

一、病菌ハ傷口カラ浸入スル故カメ虫其ノ他ノ害虫驅除ヲ勵行シ且防風林ヲ設ケテ風ニヨル擦傷ヲ防ガネバナラヌ。

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

一、收穫一〔二〕ヶ月以前ニ藥劑撒布ヲ行ヒ直ニ袋掛ヲナスハ有効ト思ハレル。

一、ボルドー合劑ハ効果アルモ他方象皮病及煤病等ヲ多發セシムルカラ撒布ニ適サナイ。

5 黑星病（くろほし病）

果實ノミヲ浸害スル病害デ成熟ニ近イモノ及收穫貯藏中ノ柑果ニ發病ガ多イ。初メ果面ニ黃褐色ノ小斑カ出來後圓形トナリ暗色又黑色ニ變ジ屢々一果面ニ數十個以上ノ病斑ヲ生ズルモノガアッテ著シク外觀ヲ損スル。

防除法

一、樹上ニアッテ强烈ナ日光ノ直射ヲ受ケタモノニ發病ガ多イカラ之ガ防止裝置ヲナスコト。

一、「カメムシ」其ノ他ノ害虫驅除ヲ勵行スルコト。

一、收穫一、二ヶ月以前ニ藥劑撒布ヲ行ヒ後直ニ袋掛ヲナスガヨイ。

一、摘果及運搬ノ際果面ニ傷ヲツケヌ樣注意ヲ要ス。

一、ボルドー合劑ハ象皮病煤病等ヲ多發セシムルカラ撒布ニ適サナイ。

6 裂開病（れつかい病）

一種ノ生理的障害デアッテ他ニ傳播スル虞ハ無イガ果面ガ縱ニ裂開シテ果肉ガハミ出ルノデ人目

ニツキ易イ。

原因ハ主トシテ地中ノ水分關係ニ基因スルモノデ乾燥ガ持續シタ後降雨ノアツタ場合等ニ發生ガ多イ。

防除法

一、堆肥ヲ施用シ土壤中ノ保水力ヲ高メ乾燥ヲ防グコト、但シ排水不良ニ陷ラシメテハナラヌ。

一、旱魃甚シキ時ハ灌水ヲ行ヒ且樹下ニ敷草ヲ行ヒテ水分ノ調節ヲ計ルガヨイ。

一、窒素質肥料ノ過用ヲ避ケ若シ樹勢ガ旺盛ニ過ギルナラバ樹下ヲ淺ク堀ツテ斷根法ヲ行フガヨイト謂ハレテヰル。

7. 青黴病（あをかび病）

本病ハ收穫後ノ柑果ヲ侵害スルモノデ氣温ガ高クナルニ從ツテ發病ガ多イ。初メ果面ニ圓形ノ黄色又ハ褐色ノ病斑ガ出來、次第ニ其ノ部分ガ柔軟トナリ、次デ青黴ガ一面ニ生ジテ遂ニ腐敗スル、甚ダシキモノハ果面全体ガ黴デ蔽ハル、コトモ稀デハナイ。

防除法

一、此ノ病菌ハ必ズ果面ノ傷口カラ浸入スルモノ故、摘果及運搬等ノ際ニ損傷セザル樣充分ナル

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

注意ヲ要ス。

一、貯藏中ノモノニ被害果ヲ發見シタナラバ直ニ除去スル。

8　煤　病（すゝ病）

本病ハ葉技梢果實ノ表面ニ黑色ノ被膜ヲ生ズルガ單ニ外部寄生ニ留マリ內部ニ浸入シナイ。葉ニ發生シタモノハ容易ニ剝取ル事ガ出來ル、併シコレガタメ植物ノ同化作用ヲ妨ゲ果實ノ成熟ニ惡影響ヲ及ボスハ勿論デアル。

防除法

一、本菌ハ介殼虫ヤ蚜虫ノ分泌スル甘汁上ニノミ繁殖スルモノ故之等ノ害虫驅除ガ第一デアル即チ松脂合劑、機械油乳劑等ヲ撒布セバ自然本病ヲ防除スル事ガ出來ル。

一、ボルドー合劑ハ介殼虫ノ寄生菌ヲ死滅セシメ却テ本病ヲ多發セシメルカラ結果後ニハ不適當デアル。

一、適當ニ剪定ヲ行ツテ園ノ透光通氣ヲヨクスルガヨイ。

9　紋　羽　病（もんば病）

州下ノ柑橘園ニ甚ダ多イ病害デ初メ褐色ノ薄イ被膜ガ出來、次第ニ綿樣ノモノトナリ葉技梢果實

ノ表面ヲ蔽ヒ内部ニハ侵入シナイガ、之ガタメ樹勢ヲ衰弱セシメル事大デアル、被膜ハ煤病ノモノニ比ベテ遙ニ厚イ。

防除法

一、本菌モ煤病ト同様介殼虫ノ分泌上ニ繁殖スルモノ故、松脂合劑ノ撒布ガ最モ効果的デアル。

ボルドー合劑ハ本病ノ防除ニ適サナイ

一、適當ニ剪定ヲ行ツテ園ノ透光通氣ヲヨクスルガヨイ

10 赤衣病（せきい病）

幹ヤ枝梢ニ發生スル病害デ初メ被害部カラ樹脂ヲ分泌シソレガ乾燥シテ亀裂ヲ生ジ後表面ニ淡紅色ノ粉末ヲ一面ニツケソレカラ先ノ枝梢ハ葉ガ黄變シテ脱落シ遂ニ枯死スルカ或ハ著シク衰弱スル

防除法

一、本菌ハ風、昆虫其ノ他ニヨリ盛ンニ傳播スルカラ發病ヲ認メタナラバ躊躇ナク被害部ノ稍下部カラ切リ取ツテ燒却スルコト、但シ發病部ガ幹ヤ太イ枝デアツタ場合ハ先ヅ其ノ表面ヲ削取ツテ燒却シ切口ニハコールタール「木灰汁」「石灰乳」等ヲ塗布シ更ニ樹全体ニ對シ石灰硫黄合劑ヲ撒布スルガヨイ。

一、ボルドー合劑ハ本病ノ防除ニハ相當有効デハアルガ象皮病ヤ煤病ガ多クナルカラ果實ヲ着ケテカラハ撒布ニ適サナイ。

一、適當ニ剪定ヲ行ッテ日光ノ透射及通氣ヲヨクスルガヨイ。

一、臺灣レンギョ、相思樹、木棉。楮棟、珈琲等ハ全ジク本病ニ犯サレ易イ故之等ヲ近クニ栽植スルコトハ避ケネバナラヌ。

三、害蟲

天牛科

1 ごまだらかみきり

此ノ害虫ハ俗ニ鐵砲虫又ハ天牛トモ云ハレ、幼虫ハ根元近クノ幹ニ喰ヒ入ッテ墜道ヲ作リ、盛ンニ加害スルカラ樹ガダン〳〵弱ッテ遂ニ枯死スルモノモ稀デハナイ。成虫ハ大形ノ甲虫類デ全体光澤アル黒色觸角ガ体ヨリモ長ク翅鞘上ニハ小白斑ヲ多數着ケテヰル。

防除法

一、幼虫ノ喰ヒ入ッタ樹カラハ其ノ糞ガ外部ニ出サレテヰル故細イ針金ヲ挿込ンデ突殺スカ或ハ

一、青酸加里又ハ猫イラズ等ノ毒劑ヲ少量詰込ンデヨクロヲ塞イデオクト幼虫ガ中デ死ヌ。

一、産卵ヲ防止スルタメ地上二、三尺ノ間ヲ石灰塗劑ヲ塗布スルカ、或ハ割竹ノ如キモノデ幹ヲ包ムガヨイ、但シ苗木ノ如キ幼木ニ加害スル事ハ殆ド無イ。

一、成虫ヲ發見次第捕殺シテ其産卵ヲ防止スル。

一、楛楝、木麻黄、樹豆等ハ何レモ本害虫ノ加害植物故之等ヲ近クニ栽植スルハ不可デアル。

2 みかんながたまむし　吉丁虫科

成虫ハ「コメツキムシ」ニ似タ小形ノ甲虫類デ翅鞘ハ黒藍色、頭部ハ角形ニ近イ、幼虫ハ樹皮下ヲ食廻ッテ小穴ヲ穿チ其ノ中ニ蛹化スルガソレ等ノ樹ハ衰弱シタモノガ多イ様デアル。「ミカンタマムシ」ノ名ハアルガ、柑橘ニハ極メテ稀ナル害虫デ當場デモ移植後充分活着シナイ**レモン**樹カラ一度其ノ蛹ヲ採取シタニ過ギナイ。

防除法

一、枯枝中ニハ成虫及蛹ヲ見ル事ガアルカラ常ニ注意シテ枯枝ヲ除去スルガヨイ。

一、樹勢ヲ旺盛ナラシムル様肥培管理ニ注意スル。

3 たいわんあをごうがね　金亀子科

全体綠色光澤アル「コガネムシ」デ主トシテ成虫ノミガ葉ヲ食害シ、幼虫ハ土中ニ棲息スル。春季及夏季ニ發生ガ甚ダ多ク一樹ニ數十頭ノ成虫ヲ見ル事ガ稀デナイ。近ヅクト轉落死ヲ裝フガ地上ニ落テヌ間ニ多クハ飛翔スル。

防除法

一、捕虫網ヲ用ヒテ成虫ヲ捕殺スル。

一、豫メ葉ニ砒酸鉛ヲ撒布シテ毒死セシメル。

一、燈火ニ飛來スルカラ發生ノ甚ダ多イ時ニハ誘殺スル事モ出來ル。

椿象科

4 みかんこげかめむし

体ハ濃綠色胸背ノ兩側ガ突出テ刺狀ヲナスノデ此ノ名ガアル。成虫、幼虫共ニ長イ口吻ヲ果實ニ刺込ンデ養分ヲ吸收スルカラ被害ガ大キイ。六月頃カラ收穫時迄普通ニ見ラレル害虫デアル。

防除法

一、捕虫網ヲ用ヒテ成虫及幼虫ヲ捕殺スル。体ガ綠色デ發見シニクイナラバ樹ヲ輕ク敲イテ其飛翔スルヲ待ツテ捕獲スル。

椿象科

5 きしもふりかめむし

黄色ノ斑点ヲ体一面ニ散在シ、「ミカントゲカメムシ」ト殆ド同等ノ大キサデアル。柑橘園ニハ稀デアリ且ツ果實ヲ加害スル事ハ殆ド無イカラ被害ハ至ッテ少ナイ。

防除法

一、「ミカントゲカメムシ」ニ仝ジ。

椿象科

6 みかんかめむし

前二者ヨリハ遙カニ小サク赤褐色、丸形ノ「カメムシ」デ、背上ニ十余個ノ小黒点ヲ聯レテオル。極メテ稀ナル種類デ、「ミカンカメムシ」ノ名ハアルガ柑橘害虫トシテハ殆ド言フニ足ラナイ。

防除法

一、發見ノ時捕殺スレバヨイ。

介殼虫科

7 わたふきかひがらむし

世界ニ於ケル有名ナ害虫デ柑橘ノ外相思樹、木麻黄等ニ發生ガ甚ダ多イ。成虫ハ灰白色、楕圓形脊面ガ少シク隆起シ枝幹ニ附着シテ移動シナイ。幼虫ハ初メ母体下ニアッテ口吻ヲ樹皮ニ挿入シテ養液ヲ吸收シ後葉及梢ニ移ッテ加害スル。乾燥期ニハ驚クベキ發生ヲ見ル事ガ稀デナイガ、雨期ニ至ルト自然消失スルノガ普通デアル。

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

防　除　法

一、此害虫ニハ「ベタリヤテントウムシ」ガ最强敵デアツテイクラ發生ヲシテモ其ノ中ニ此ノ「テントウムシ」ヲ發見シタナラバ其儘放任シテ置イテ差支ナイ。軈テ此ノ益虫ガ大繁殖ヲナシ「ワタフキカヒガラ」ヲ絶滅シテ了フデアラウ、此ノ「ベタリヤテントウムシ」ハ今カラ三十年以前ニ現台北帝大ノ素木博士ガ布哇カラ輸入サレタモノデ當時猖獗ヲ極メタ、「ワタフキカヒガラ」ヲ驚異的ニ驅除シ而モソレガ東洋ニ於ケル益虫輸入ノ嚆矢デアツタカラ仝博士ノ功績ハ大キイ。爾後本島ニ自然繁殖シ、「ワタフキカヒガラ」ノ發生ヲカナリ仰制シテヰルノデアル。

防　除　法

一、「ベタリヤテントウムシ」ヲ放飼シテ自然驅除ヲ行フガ最モ効果的デハアルガ、此ノ益虫ガ發見サレズ又之ヲ得ラレナイ場合ニハ、松脂合劑ノ十五倍液乃至廿倍液ヲ、一週間オキ位ニ二、三回撒布シ尚撲滅シナイ時ハ、强力ポンプヲ用ヒテ多量ノ水ヲカケ、技幹カラ「カヒガラムシ」ヲ洗ヒ落スノモ一ツノ方法デアル。

8 みかんのこなかひがらむし　介殻虫科

成虫ハ楕圓形ニシテ灰色背面ニ白粉ヲツケ体ノ全周圍カラ細長イ糸狀ノ白色分泌物ヲ出シテヰル、

幼虫ハアマリ移動セズ常ニ群棲的デアル。

防除法

一、松脂合剤十五倍乃至二十倍液ヲ撒布スル。

一、強力ポンプニテ多量ノ水ヲカケ「カヒガラムシ」ヲ枝幹カラ洗ヒ落ス。

介殻虫科

9 ひめまるかひがらむし

柑橘園ニ普通ニ見ラレル害虫デ葉、枝梢、果實ニ宛モ黒点ヲ散ラシタ様ニ寄生スルカラ、「マルクロホシカヒガラムシ」トモ呼バレテ居ル。

防除法

一、松脂合剤十五倍液乃至廿倍液ヲ撒布スル。

以上ノ外柑樹ヲ害スル介殻虫ハ廿余種ニ上ルガ、大体松脂合剤ガ最モ有効デアル。

蚜虫科

10 みかんのあぶらむし

暗褐色、又ハ黒色デ躰ハ極メテ柔ラカイ小形ノ昆虫デアルガ常ニ胎生蕃殖ヲ營ミ新梢、新葉ニ集マツテ盛ニ養液ヲ吸收スル。

防除法

一、除虫菊石鹼液、魚籐石鹼液、ニコチン石鹼液、石油乳劑等ハ何レモ有効デアル但シ蚜虫類ハ單性胎生蕃殖ヲ行フ故僅カニ生キ殘ツテモ忽チ再發生ヲミルカラ藥液ガ虫体ニヨクカヽル様ニ撒布セネバナラヌ。

細蛾科

11 みかんむぐりが

幼虫ハ嫩葉ノ組織内ヲ潜リ歩イテ盛ンニ食害スルノデ食跡ハ丁度書カ字ヲ書イタ様ニナル其ノ加害葉ハ捲縮シテ伸ビズ又食跡カラハ潰瘍病菌ガ入リ易イ、新葉ニ被害ガ多イ、成虫ハ漸ク認メ得ル程小サイ蛾デアル。

防除法

一、硫酸ニコチン液、又ハ石油乳劑ヲ撒布スル。

葉捲蛾科

12 こかくもんはまき

小形ノ蛾デ成虫ハ黄褐色前翅ニ、一、二、三ノ紋ガアル幼虫ハ葉ヲ捲クカ或ハ綴合セテ其ノ中デ加害スルガ柑橘ニ對シ未ダ甚シキ被害ヲ見ナイ。

防除法

一、葉ヲ捲キタルモノ又ハ綴合サレタルモノハ上ヨリ押ヘテ幼虫及蛹ヲ壓殺スル。

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

毒蛾科

13 たいわんきごくが

全体黄色中形ノ蛾デ動作ガ甚ダ鈍イ、幼虫ハ黄色ニ濃イ赤色デ飾ラレ黒色ノ毛ヲ着ケテキルカラ容易ニ目ニツク成虫幼虫トモ人ノ皮膚ニ觸レルト非常ニカユクナル、幼虫ハ甚ダ雜食性デ數十種ノ植物ヲ加害シ常ニ見ル害虫デアル。

防除法

一、孵化當時ノ幼虫ハ群棲シテ葉ヲ食害スルカラ其ノ際潰殺スルカ、或ハ接觸劑ヲ撒布スル、既ニ離散シタモノニ對シテハ葉ニ砒酸鉛ヲ撒布シテ毒死セシメル。

一、成虫ハ燈火ニ飛來スルカラ發生ノ甚シイ時ハ誘蛾燈ヲ設置スルノハ有効デアル。

毒蛾科

14 こしろもんごくが

全体黑褐色、前翅ニ小紋ヲ有スル中形ノ蛾デ雌ハ成虫トナルモ、羽根ヲ生ジナイカラ産卵ハ必ズ其ノ樹デ行ハレル、從ッテ時ニ異常ナル大發生ヲナシ葉ヲ悉ク食ヒ盡ス事モアル、幼虫ハ一見「タイワンキドクガ」ニ似テオリ又雜食性デアル。

防除法

一、「タイワンキドクガ」ニ仝ジ。

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

毒蛾科

15 みかんごくが

前二者ヨリハ稍大形ノ蛾デ幼虫ハ灰白色ノ毛デ蔽ハレオリ頭部及背部カラ長イ黒毛ヲ出シテキル此ノ害虫モ雑食性デハアルガ未ダ柑橘ニ對シテ甚シキ加害ヲ見ナイ。

防除法

一、「タイワンキドクガ」ニ仝ジ。

避債蛾科

16 おほみのが

幼虫ハ所謂「ミノムシ」ト稱セラレ袋狀ノ巣ヲ作リ其ノ外部ニハ葉ヤ小枝ヲ着ケテ枝カラ枝ヘト歩キ廻リ、盛ンニ葉ヲ喰害スル。雌ハ成虫トナツテモ袋ヲ出ズ、且羽根ヲ生ジナイカラ産卵ハ必ズ其ノ樹デ行ハレ從ツテ大發生ヲミル事ガアル。

防除法

一、發生ノ少イ時ニ捕殺スル。

一、砒酸鉛ヲ葉ニ撒布シテ毒死セシメル幼虫ハ袋ノ中ニ在ルノデ接觸劑デハ完全ニ殺ス事ガ出來ナイ。

燈火蛾科

17 はいいろひとりが

稍大形ノ蛾デ躰ハ黄色、小黒点ヲ聯ネ、翅ハ灰白色、雌蛾ハ後翅ニ黒点ヲ存ス、幼虫ハ黒毛ヲツケ地上ヲ匍匐スル時ハ甚ダ早イ。

防除法

一、孵化當時ノ幼虫ハ群棲シテ葉ヲ食害スルカラ發見次第潰殺スルカ、或ハ接觸劑ヲ撒布スル。

一、砒酸鉛ヲ葉ニ撒布シテ毒死セシメル。

夜蛾科

18 はすもんよたう

稍大形ノ蛾デ前翅ハ黒斑ト紫色紋ヲ散在シ、後翅ハ白色デアル、幼虫ハ極メテ雑食性デ殆ンドアラユル作物ヲ加害スル、孵化當時ハ群棲シテ葉ヲ食害スルガ成長スルニ從ツテ離散シ晝間ハ土中ニ隱レ夜間出デ、食害スル。

防除法

一、群棲中ノ幼虫ハ發見次第潰殺スルカ或ハ接觸劑ヲ撒布スル。

一、豫メ葉ニ砒酸鉛ヲ撒布シ毒死セシメル。

一、樹下ノ土壤ヲ淺ク堀ツテ幼虫及蛹ヲ捕殺スル。

鳳蝶科

19 をなしあげは

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

黑色ニ黃色ノ紋ヲツケタ大形ノ美シイ蝶デアルガ幼虫ガ葉ヲ食害スル、充分成長シタモノハ拇指大ニモナルカラ食害モ相當大キイ、老熟スルト尾端ヲ固着シ一本ノ糸デ体ヲ廻ラシ樹枝上デ蛹トナル。

防除法

一、捕虫網ニテ成虫ヲ捕殺スル。

一、幼虫ハ發見次第捕殺スルカ、或ハ接觸劑ヲ撒布スル。

一、砒酸鉛ヲ葉ニ撒布シテ毒死セシメル。

一、蛹ヲ取ルコト。

「アゲハ」ノ蝶デ柑橘ヲ加害スルモノハ數種以上ニ上ルガ、經過習性及驅除法ハ全一デアル。

蝗虫科

20 たいわんおほばつた

本邦産バッタ中最大ノ種類デ全体濃綠色夏季ニ發生シテ葉ヲ食害スル但シ柑橘園ニハ主ニ成虫ノミガ認メラレ幼虫ハ多ク叢中ニ捿息スル。

防除法

一、捕虫網ヲ用ヒテ捕殺スル。

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

一、發生多イ時ハ葉ニ砒酸鉛ヲ撒布シテ毒死セシメル。

果實蠅科

21 みかんこみばへ

褐色ニ黑色ヲ交ツタ一見蜂類ニ似タ小形ノ蠅デ果實ノ表面カラ産卵管ヲ挿込ンデ産卵スル、孵化シタ幼虫ハ果肉ヲ食害シ其ノ熟期ヲ早メ落果ト共ニ地中ニ入ツテ蛹化スル、ソウシテ此ノ幼虫ハ頭部ト尾端トヲ相接シ急ニ之レヲ伸長シテ跳躍スルノ性質ガアル加害ノ最モ多イノハ「マンゴウ」デアルガ、茘枝、龍眼、蕃茘枝、牛心梨、蕃石榴、ビタンガ、蓮霧其ノ他種々ノ果實ニ被害ガ少クナイ。

柑橘ノ内地移出檢査ハ實ニ此ノ「ミバヘ」ヲ目標トサレタモノデアルカラ最モ注意スベキ害虫ノ一ツデアル。

防除法

一、落果ハ決シテ放置スル事ナク毎日集メテ水中、又ハ肥溜等ニ投棄シテ果肉ノ幼虫ヲ漬殺スル。

一、摘果期ニ近キモノハ袋掛ヲナスコト但シ未熟ナル柑果ニハ殆ド産卵セズ又、「レモン」ニハ全然加害シナイ。

四、結尾…………附柑橘藥劑撒布曆

以上ハ當場ニ於テ調査セル柑橘主要病害虫ノ概要デアルガ要スルニ病害虫ノ防除ハ其ノ發生ニ先

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

チテ之ヲ豫防シ發生ノ初期ニ於テ驅除スベキデアッテ被害ノ激甚ナル後ニ至ッテハ如何ナル藥劑ヲ用フルモ効果ハ極メテ薄イノデアル。サレバ柑橘園ニ對シテハ定期的ニ夫々藥劑ヲ撒布シ其ノ間特殊ノ發生アラバ適當ナル方法ヲ過チナク施行シ常ニ細心ノ注意ヲ以テ病菌害虫ノ發生ヲ防止スベキデアル。

今如何ナル時期ニ於テ如何ナル藥劑ヲ用ヰ如何ナル病害虫ノ種類ヲ防止セラルベキカニ就キ大体ノ標準トスル藥劑撒布暦ヲ示セバ次ノ如シ。

柑橘藥劑撒布暦

回數	撒布時期	使用藥劑	適用病害虫	注意事項
第一回	果實收穫後	松脂合劑十五倍乃至廿倍	介殼虫、煤病、紋羽病	豫メ枯枝ヲ除去スベシ
第二回	開花前又ハ閉花後	砒酸鉛又ハニコチン加用四斗式ボルドー合劑	瘡痂病、潰瘍病、赤衣病蝶蛾ノ幼虫、蚜虫其ノ他	
第三回	果實拇指大ノ頃	石灰硫黄合劑ボーメ〇。五度	瘡痂病、潰瘍病、赤衣病、介殼虫	ボルドー合劑ト藥害ヲ防グタメ前回撒布ヨリ廿日以上ヲ隔ツコト

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895
圖書室 應用動物系

第四回	仝中等大ノ頃	仝ボルドー一度	潰瘍病、赤衣病、象皮病、介殼虫	
第五回	第五回ト第六回トノ中間	仝上	潰瘍病、腐敗病、黒星病、象皮病、介殼虫	「カメムシ」其ノ他ノ害虫驅除ヲ行フベシ
第六回	摘果約一ケ月前	仝上	仝上	仝上

備考

ボルドー合劑ニ砒酸鉛ヲ加用スルハ、「コガネムシ」ノ發生、其ノ他蝶、蛾ノ幼虫稍々老熟セル場合デ其ノ量ハ、ボルドー合劑一斗ニ對シ、粉末砒酸鉛十匁トス。硫酸ニコチンヲ加用スルハ蚜虫ノ發生又ハ孵化間モ無キ害虫ニ對スルモノデ其ノ量ハ、ボルドー合劑一斗ニツキ、ニコチン一勺トス。尚ボルドー合劑ニ砒酸鉛、又ハニコチンヲ加用スルト否トニ係ラズ其ノ一斗ニ對シ、カゼイン石灰五匁ヲ加フレバ藥害ヲ防ギ且、展着力ヲ増スコトニナル。

昭和十年九月十五日印刷
昭和十年九月十七日發行

高雄州農事試驗場

高雄州屏東市末廣町二九六番地
印刷者　李福來

高雄州屏東市末廣町二九六番地
印刷所　屏東印刷所

Taiwan
008

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

10冊